

こんにちは。

(一財)生涯学習開発財団認定プロフェッショナル・コーチの長井です。

8月最後のここいち便りをお届けいたします。

さて、今日のテーマはあまりにも普遍的であり、読者の皆さんにも一言ある方が多いのではと思います。組織のマネージャーとして自分はどんなリーダーシップを発揮するのか。どんなリーダーになりたいのか。それぞれが自分なりの答えを求めていくべきことなのだろうと思います。

私はそこに答えを出したいわけではありません。

ただひとつ言えるのは、必ずしもグイグイ人を引っ張る昭和系のリーダーシップが絶対解ではないということ。「私は人前に出ることが苦手なんです」という人も少なくないと思いますが、そういう人にもその人なりに発揮できるリーダーシップがあるのではないかと思います。

巨人の星を愛読書として育ち、体育会水泳部で水球に打ち込んだ私は、典型的な昭和人であり、グイグイ系のリーダーシップに憧れを抱いていました。進むべき方向を指し示し、言葉や行動と背中メンバーを引っ張っていく。そんなことを指向していました。それが良かったのかどうなのか、今の私にはよくわかりません。そういうスタイルが苦しい局面を切り開いたという面もありますが、結局私の個人技でしかなく、極言すれば私の自己満足でしかなかったという感じも否めないような気がします。

コーチングでは、すべての人がリーダーであるという考え方に立ちます。それは、もちろん昭和系のリーダーのことを言っているわけではなく、さらには、組織の指導的立場にあるかどうかということでもありません。一番原点にあるのは、まず、人は自分自身の人生のリーダーであるということ。自分の意思と気持ちで自分の人生を切り開いていくのであり、そういう意味で自分の人生に責任があるのだということです。

これは組織の中でのあり方でも同様なのでしょう。人は組織のコマや歯車ではありません。自分がどんな思いでどんな姿勢で自分の仕事に取り組むか。職場のメンバーや関係者たちとどんな関係性を築いていきたいのか。それは自分次第なのです。上記の考え方はそういう意味だと私は理解しています。

そう考えると、グイグイ引っ張らなくても、別の形のリーダーシップがありうるのではないのでしょうか。たとえば、相手の意思を尊重した関わりを指向する。相手の意志と自分や組織の考え方の違いを大切に扱う関わりを指向する。そうしたことを通じて相手が自分の課題に対し、心からのフルパワーが発揮できるような関わり方を指向していく。

組織のど真ん中にいた頃の私がそういうことに気がついていれば、また違った組織運営ができたのではないかと、そうすると、また違ったものが残せたのではないだろうか、そんなことを思う時がしばしばあります。

あなたはどんなリーダーでありたいですか？

(一財)生涯学習開発財団認定プロフェッショナル・コーチ 長井 克之

私の情報発信: <https://note.com/nagaib61s83> 「ながいコーチのここいちnote」

Website : <https://www.koko-ichi.com/> 「ながいコーチのここいちルーム」

ご連絡先 : nagaib21@koko-ichi.com 080-9831-8316

◆ここいち便りは著作物です。ご友人・ご家族・ご同僚・知人の方等への転送は歓迎です。その際はメール丸ごとの形で転送してください。出元を明らかにしない形での一部または全部のコピー・転載はなさらないようお願い致します。[登録解除](#)